

優先交渉権者選考審査基準及び提案書記載項目

- ・提案書の記述にあたっては、説明を要せずとも提案書を読んで理解できる内容とすること。
- ・提案書記載項目毎に対象とする提案を行うこと。
- ・記載は当該項目内で完結すること。当該項目以外に掲載されている記述は、採点の対象とならないことに留意すること。
- ・提案書に記載する内容は全て本事業における実施義務事項として事業者が提示し、契約するものであることに留意すること。
- ・実施義務事項ではなく、参考として記載が必要である場合には、【参考】と明示し、記載する用紙を分け、混同する可能性を排除すること。
- ・説明は文章をもって行い、図等はその補助として用いること。図のみの説明は認めない。
- ・業務仕様等、甲府市が公開した各種事業関連図書の内容を前提として提案すること。
- ・提案記載項目の内、【4.1】を除く全ての項目は、必須として記入すべきものであり、これらの項目において、記入がないなどの場合は、評価できないため失格となる場合があり、記入には十分留意されたい。
- ・提案書は、20ページ以内とすること。(様式1の表紙は含まず)

評価分類		配点	評価基準 (提案を求める内容)	審査資料
1. 業務全般	1.1. 考え方・システムの活用	5	・本業務の目的に沿って、構築・運用に関する考え方を示すこと。 ・本市及び関係者におけるシステムの実現イメージを具体的に示すこと。	企画提案書
	1.2. スケジュール・体制・役割分担	10	・プロジェクト全般における詳細なスケジュールを示すこと。 ・プロジェクト体制及びプロジェクトメンバーの経歴、実績を具体的に示すこと。 ・受託者と本市の役割分担を明確化し、本市の負担軽減策を示すこと。	業務工程表
	1.3. マネジメント	5	・本市と円滑なコミュニケーションを図り、認識のずれを防止するための手法を具体的に示すこと。 ・進捗管理、品質管理、性能管理等のプロジェクトマネジメントに関する手法について具体的に示すこと。 ・リスクマネジメントの考え方や手法を具体的に示すこと。	企画提案書
	1.4. 実績	5	・提案するパッケージシステムについて、他自治体への導入・運用実績について示すこと。	業務実績書
2. 構築業務	2.1. 地域資源の調査	10	・調査対象者の負担軽減や回収率の向上等を考慮した調査手法を提案すること。 ・医療・介護連携に資する調査項目について提案すること。	企画提案書
	2.2. 住民向けサイトの構築	10	・掲載情報の鮮度を保つための提案をすること。 ・住民が容易に使用できる操作性を有していること。	
	2.3. 関係者向けサイトの構築	10	・掲載情報の鮮度を保つための提案をすること。 ・関係者が容易に使用できる操作性を有していること。 ・在宅医療・介護の連携した対応が求められる4つの場面(①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り)において実用性を有するシステムであるか。	
	2.4. 自治体管理サイトの構築	10	・「やまなし連携中枢都市圏」構成自治体においても利便性が確保されているか。	
3. 運用業務	3.1. システム運用	30	・調査対象者の負担軽減や回収率の向上等を考慮した調査手法を提案すること。 ・システムの円滑な運用にあたり、所要の措置が講じられているか。 ・問い合わせ等に対応する十分な体制がとられているか。	プレゼンテーション
4. その他	4.1. オプション提案	20	・本市が求める仕様書要求事項以外で、提案者の特性を活かした追加提案があれば具体的に示すこと。 ※提案価格には含めないが、追加費用がかかる追加提案をする場合は費用を示すこと。	
	4.2. 説明能力	5	・簡潔で分かりやすい説明であり、質疑応答への的確な対応がされているか。	
合計		120		